

事業名：セラミックアートセンター管理経費

主査（セラミックアートセンター）

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
セラミックアートセンター	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンターの管理運営に要する経費。 ・小森忍および道内作家、れんが資料の収蔵、展示。 ・陶芸を中心とした企画展、各種陶芸教室、講座等の適正な管理運営。工房、窯等の貸し出し。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・快適かつ安全に利用してもらう。 ・多くの市民に利用してもらうことで、「れんがとやきものまち・江別」のイメージの共有を図る。 	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開館日数	日	302	303	304	303
活動指標2	運営・維持管理経費	千円	40,648	38,613	39,545	38,191
成果指標1	利用者数	人	23,543	19,982	19,285	20,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	40,647	38,612	39,545	38,191
正職員人件費(B)		千円	6,822	7,214	7,032	6,259
総事業費(A+B)		千円	47,469	45,826	46,577	44,450

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・セラミックアートセンターの管理経費 ・小森忍および道内作家の作品、れんが資料の収蔵・展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員報酬及び臨時職員賃金 6,388千円 ・暖房用重油代等燃料費 4,156千円 ・電気代等光熱水費 4,385千円 ・保守管理等委託経費 20,635千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
・セラミックアートセンターの管理運営	
事業を取り巻く環境変化	
・陶芸の里計画の見直し ・施設のあり方検討の中で、市民ギャラリーの機能を付加して利活用を図ることとなり、平成23年度に企画展示室の改装を実施。幅広い芸術文化の展示発表が行える地域文化創造の新たな拠点とした。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 ・陶芸の里条例および規則
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 ・芸術作品の収蔵と鑑賞機会や制作の場を提供するものであり、芸術活動に対する支援と情報発信の基盤となる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 ・江別の顔づくりには一定程度役立っている。 ・入館者数は、24年度と比較してほぼ横ばい状態である。さらに市民利用を促がすためには、施設の多目的利用など運営に工夫が必要である。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 ・施設の多目的利用など運営方法を工夫する。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 ・17年度に大幅な経費節減を図っており、これ以上は軽微な削減しか見込めない。かつ施設設備等の経年劣化により維持管理に係る経費の増が必要となってきた。